

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書
(令和2年度事務事業対象)

令和3年10月
宇土市教育委員会

—目次—

I	点検・評価制度の概要	
1	経緯	1
2	目的	
3	対象事業の選定方法	
4	学識経験者の知見の活用	
5	教育委員会としての今後の方向性	2
II	点検・評価の結果	3
	事業名一覧	4
1	学校一般経費（ICT関連経費）	5
2	特定教育保育等副食費補足給付	6
3	学校施設トイレ洋式化事業	7
4	特別支援教育総合推進事業	8
5	就学援助事業	9
6	地域学校協働活動推進事業 （地域学校協働活動推進員配置事業）	10
7	地域学校協働活動推進事業 （放課後子供教室推進事業）	11
8	子ども見守りボランティア事業	12
9	史跡宇土城跡保存整備事業	13
10	市内重要遺跡保存活用事業	14
11	小西行長関連事業	15
12	大太鼓活用事業	16
13	宇土市歴史的資料保存活用事業	17
14	図書館蔵書充実事業	18
15	給食センター施設整備事業	19
16	地域教育力活性化事業	20
III	教育委員会の活動状況	21
1	委員会議の開催状況	21
2	総合教育会議	24
3	その他の活動状況	24
	宇土市教育委員会委員名簿	25

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、事務局職員を、様々な属性を持った複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意思決定を行うものです。

事務の点検・評価は、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 対象事業の選定方法

点検評価の対象事業は、行政の政策や施策、事務事業を有効性、効率性などの視点から一定の物差し（指標）によって客観的に評価し、事務改善や分かりやすく透明性の高い市政運営につなげていくために実施された「宇土市事務事業評価」の評価体系に準じ、教育委員会が実施した全事務事業の中から、事業費が多額にわたるもの、社会的関心が高いものなど、事業の在り方を検証する必要性が高いと判断される16事業を選定しました。

4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、担当課が行った点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む4人の外部評価委員に、対象事業についてのご意見をいただきました。

外部評価委員名簿

氏名	職業等	委嘱期間
田口 剛	元教師	令和3年8月1日から令和5年3月31日
伊勢 聰	放課後子供教室 コーディネーター	令和3年8月1日から令和5年3月31日
高田 勝廣	走湯公民館長	令和3年8月1日から令和5年3月31日
鉏守 千賀	市P連副会長	令和3年8月1日から令和5年3月31日

5 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会としての今後の方向性を下記4つの中から選択しました。

拡充	事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
維持	おおむね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
要改善	現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
廃止・完了	事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業、完了した事務事業

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 点検・評価の結果

事業名一覧

	事業名	担当課
1	学校一般経費 (ICT関連経費)	学校教育課
2	特定教育保育等副食費補足給付	学校教育課
3	学校施設トイレ洋式化事業	学校教育課
4	特別支援教育総合推進事業	学校教育課
5	就学援助事業	学校教育課
6	地域学校協働活動推進事業 (地域学校協働活動推進員配置事業)	生涯活動推進課
7	地域学校協働活動推進事業 (放課後子ども教室推進事業)	生涯活動推進課
8	子ども見守りボランティア事業	生涯活動推進課
9	史跡宇土城跡保存整備事業	文化課
10	市内重要遺跡保存活用事業	文化課
11	小西行長関連事業	文化課
12	大太鼓活用事業	文化課
13	宇土市歴史的資料保存活用事業	文化課
14	図書館蔵書充実事業	図書館
15	給食センター施設整備事業	給食センター
16	地域教育力活性化事業	中央公民館

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校一般経費 (ICT関連経費)	担当課	学校教育課
事業目的	情報活用能力、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力といった社会で生き抜く手段を身に付ける。さらには、新型コロナウイルス感染症や大規模災害時に休校となった際の学習する方法として、今日の様々な教育的課題を解決する手段としてのICT環境を整えることを目的とする。		
事業内容	「GIGAスクール構想」に基づきICT環境整備を積極的に進めるため、令和2年度に特別教室を含む学習を行う全教室の無線LAN環境の整備や児童生徒1人1台及び教職員のタブレット端末等の導入を行った。令和3年度からは、GIGAスクールサポーター、学校と共同で研修会やマニュアル作成を行う。今後は、端末を最大限活用するための学習支援ソフト、大型表示機等のハード面の整備や教職員研修等のソフト面の強化を図っていく。		
R2年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ○校内無線LAN整備(学習で使用する体育館、特別教室を含む全教室) ○1人1台端末及び教師用端末整備 ○GIGAスクールサポーター委託・・・環境整備の監理や使用マニュアルの作成等 ○貸出用Wi-Fiルーター購入 ○市内小中学校校務支援ソフト購入・・・諸表簿や出欠、通知表等のデジタル化 ○指導用デジタル教科書購入・・・中学校(R3～使用)の教科書改訂に伴い購入(小学校についてはR2当初に整備済)。 		
課題・問題点	令和2年度はGIGAスクール構想の実現に向け端末の整備、校内ネットワークの整備が完了した。令和5年度までの予定が前倒しとなったことにより、教員のスキルUPが喫緊に取り組むべき課題となっている。また、端末を破損させた場合の保証についても早急に検討していく必要がある。		
予算額・決算額	R2 予算額 305,238 千円	R2 決算額 258,068 千円 (39,105千円はR3へ繰越)	
担当課 自己評価	GIGAスクールサポーターを活用し、教員のスキルUPのために、研修会の実施やマニュアルの作成を行っていく。また、今後の維持や更新に加え、必要なソフトや大型表示機等の購入費として膨大な経費がかかることが予想されるため、国等の補助の動向も注視しながら計画的に事業を進めていく。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の環境整備が前倒しで実施され、今後とも指導者の力量等の向上等にも一層努めてほしい。また、本事業の効果の向上・維持管理のためにも十分な予算措置をお願いしたい。 ・GIGAスクールサポーターを活用した教員のスキルアップのための研修を充実させる。 ・市内小中学校の教員のスキルの実態把握をしてほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>学校の環境整備や端末の配備については、ほぼ完了したため、付属する必要機器や関係ソフトの購入に併せて、維持管理及び更新を計画的に進めていく。</p> <p>また、児童生徒が活用していくには教員のスキルが不可欠なため、県、GIGAスクールサポーターと協力しながら一層のスキルアップを図っていく。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特定教育保育等副食費補足給付	担当課	学校教育課
事業目的	食材料費の取扱いとしては、原則、保護者が幼稚園や保育所等に支払うこととされているが、国及び市独自の基準により支払いを免除し、給付を行い援助することを目的とする。		
事業内容	令和元年度は国の基準に基づいて、市町村民税所得割合算額が77,101円未満の世帯及び、小学3年生以下の子どもが3人以上いる家庭の第3子以降の子どもについて副食費の免除を実施。 令和2年度から、市の単独事業として国基準に加え、18歳以下の子どもが3人以上いる家庭の第3子以降の子どもについて対象を広げ補足給付を実施している。		
R2年度の進捗状況	国の基準対象者19名に対し1,024,696円、市独自基準者11名に対し441,671円の補足給付を実施した(宇城市からの利用者(宇城市補助)2名に対し16,376円給付)。 なお、補足給付対象者の割合は国基準が全体の6.3%、市基準が0.1%となっている。		
課題・問題点	18歳以下の子どもが3人以上いる家庭まで支援の範囲を拡大し、保育所等と同程度の支援を行うことができ、一定の効果があった。 今後は預かり保育の時間延長も実施していることから併せて周知を行い、園児確保につなげていく。 なお、財源について市基準は市単独経費のため、補助の創設等を要望していく必要がある。		
予算額・決算額	R2 予算額 2,745 千円	R2 決算額 1,483 千円	
担当課自己評価	18歳以下の子どもが3人以上いる家庭まで支援の範囲を拡大し、保育所等と同程度の支援を行うことができ、一定の効果があったため、引き続き実施し、入園児を増加させるためにも、預かり保育の時間延長も併せて周知を行っていく。 なお、財源については市基準が市単独経費のため、補助の創設等を要望していく。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度はコロナの影響もあり、経済的に困窮されておられる家庭が増えているので、継続実施を希望する。 ・継続的な予算措置を希望する。 ・入園児の増加を考え、預かり保育の充実を図ることが大切だと考える。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
本事業や幼児教育の無償化に併せ、預かり保育の充実について積極的に周知を行い、園児確保について努めていく。また、市の独自基準で補助を行っている範囲については、県や国へ引き続き要望を行っていく。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校施設トイレ洋式化事業	担当課	学校教育課
事業目的	近年の家庭用トイレにおいては、洋式が主流となっており、児童、生徒が学校の和式トイレを使用しない傾向がある。よって、洋式トイレを整備することにより、児童が使いやすく、衛生的なトイレの環境を提供することができる。		
事業内容	学校施設のトイレについて乾式及び洋式化に改修を行う。 ・トイレ 湿式から乾式へ改修(床、壁、天井及び設備の更新) ※屋外は湿式のまま ・大便器 和式から洋式へ改修 ・小便器 取替更新		
R2年度の進捗状況	・鶴城中学校を除く学校について洋式化の整備完了 ・鶴城中学校については令和3年9月に完了予定		
課題・問題点	・学校内の改修工事であり、児童、生徒等の安全対策や解体時の音の問題等環境対策を行う必要がある。 ・使用するトイレがなくなることから一度の改修ができず、個別改修を行う必要があるため、工事期間が長くなる。		
予算額・決算額	R2予算額 480,228 千円	R2決算額 315,617 千円	
担当課 自己評価	学校内の改修工事であり、児童、生徒等の安全対策や解体時の音の問題等環境対策を行う必要があったが、大きなトラブル等なく整備することができた。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
特になし			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
令和3年度内に、全ての学校施設のトイレ洋式化が完了する。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育総合推進事業	担当課	学校教育課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいを含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談を行い、自立にむけて支援するもの。 ・就学に関する悩みを抱える保護者向けに相談を行い、適切な就学につなげるもの。 ・各中学校区(地域)において周囲の理解を促し、関係機関との連携を充実させるため、特別支援教育コーディネーター会議を実施したり、特別支援学校など専門性の高い教諭の指導(巡回相談)を受けたりすることで、より一層の特別支援教育の推進を図るもの。 		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発達について悩みを持つ就学前児童及び小中学校児童生徒を持つ保護者を対象とした教育相談 ・大規模校への合理的配慮協力員の配置により、特別支援学級や通級指導教室の円滑な運営及び保護者対応 ・市内小中学校特別支援学級への巡回相談(特別支援学校教諭等) ・特別支援連携協議会及び各中学校区コーディネーター会議の開催により、地域への特別支援教育の現状と課題の発信や幼保小中連携による現状と課題の共有などの実施 		
R2年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員の派遣により発達障がいを含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、一人ひとりの特性に応じたきめ細やかな教育支援が図られた。 ・就学相談及び教育相談を実施することで、就学前から中学校に至るまでの切れ目のない支援を行うことができ、スムーズな就学につなげることができた。また、子育てに悩みを抱える保護者の負担軽減にもつながった。 ・地域公民館において、特別支援教育に関する啓発活動を行った。 ・専門的な知識を有する特別支援学校教諭等に巡回相談を依頼し、各校で指導方法などを教示してもらった。 		
課題・問題点	<p>年々特別支援教育に対する関心が高まっていることもあってか、各小中学校や就学中及び就学前の子を持つ保護者から教育相談員による相談を受けたいとの問合せが増えている。その要望に応えるための人員の確保及び予算の確保が今後の課題である。</p> <p>また、個人情報保護が厳守される中で、保健センターをはじめとする関係機関と子の発達に係る情報の連携をいかに行うか課題である。</p> <p>問題点については、教育相談員や合理的配慮協力員の配置が大規模校に偏りがちな点である。</p>		
予算額・決算額	R2予算額 6,496 千円	R2決算額 5,014 千円	
担当課 自己評価	<p>子どもの学びの場の検討を早期から行うことで、スムーズな就学につなげることができている。また、地域住民に特別支援教育に関する啓発活動を行うことで、地域で育む体制づくりの一端を担うことができたと考え。今後、課題である福祉等関係機関との連携の強化を推進していく。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に対する指導体制の充実や社会的環境(周囲の理解)等の啓発にも努めてほしい。 ・R2年度の進捗状況に記載がある啓発活動や巡回相談等を今後も実施して欲しい。 ・人員や予算の確保などの課題を解決し事業の充実をお願いしたい。 ・特別支援教育の充実には、力を入れてもらっていると感じる。今後もより推進してほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>御意見を踏まえ、今後も市民向けの公民館での啓発事業や小中学校での特別支援教育について連携、推進できるような体制を維持していく。</p> <p>また、市内小中学校の特別支援学級での指導力向上等に対応するために、特別支援学校から巡回相談員を派遣してもらい、指導体制の充実を図っていく。</p> <p>今後も継続して、一人ひとりの特性に応じたきめ細かな支援を行うために、教育相談員(心理士等)を就学前児童を持つ保護者との相談や幼稚園及び保育園への訪問を実施し、学校入学に向けた就学支援の充実に取り組んでいく。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	就学援助事業	担当課	学校教育課
事業目的	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、給食費、医療費等の一部を援助するもの。		
事業内容	市単独事業である。 4月認定をはじめ、年間を通して随時申請受付を行い、認定している。認定要件は、令和3年度現在で10項目あり、主に、市町村民税が非課税である者、国民年金掛金が減免された者、児童扶養手当の支給を受けている者、生活保護基準額の1.3倍未満の収入であり教育長が必要と認める者の占める割合が多い。 認定後、対象者に対し、学用品費等の支給を年3回行っている。		
R2年度の進捗状況	平成29年度～令和2年度の支給対象件数(準要保護件数)の推移は、H29 532件、H30 547件、R1 466件、R2 507件となっている。熊本地震や新型コロナの影響により増加の傾向にある。		
課題・問題点	少子化に伴う児童生徒数の減少は、年々顕著になっているが、ライフスタイルの変化や昨今の経済状況等の変化により就学援助受給者数は緩やかではあるが増加傾向にあり、継続した予算の確保が必要である。また、学校との連携はもちろん市HP等でも周知を図り、必要な時に必要な支援が届くよう運営していく必要がある。		
予算額・決算額	R2 予算額 47,047 千円	R2 決算額 37,435 千円	
担当課自己評価	新型コロナウイルス感染症による影響など、自然現象や社会現象による景気の悪化により、認定者数の変動がある。経済的に困難な家庭の状況が、子どもの学習や生活態度などの状況に大きな影響を与え得ることを念頭に、学校と連携しながら、確実な援助を行っていく。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、経済的に困窮されておられる家庭が増えているので、学校と連携しながら確実な援助を行っていただきたい。 ・市単独事業であるが、継続的な予算措置をお願いする。 ・子育て支援課や学校と連携し、援助に「漏れ」がないようにしてほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>新型コロナの影響もあるため、継続して取り組んで行くとともに、各小中学校の全保護者への周知の徹底を図っていく。 また、HPなどを通じて、制度の説明を分かりやすいように工夫・改善に取り組み、必要な人に必要な支援が届けられるよう子育て支援課とも連携しながら、事業を実施していく。 なお、今後はICTを活用した家庭での学習も開始されるため、家庭での通信も含め要望を行っていく。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

- 拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
- 維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
- 要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
- 廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校協働活動推進事業 (地域学校協働活動推進員配置事業)		担当課	生涯活動推進課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる体制の構築 ・地域の活性化や学校を核とした地域づくり ・地域住民(学校支援ボランティア)の知識や経験を生かす場の提供 ・教員が子どもと向き合う時間の確保 			
事業内容	宇土市内の小中学校全てを対象に、地域住民から学校支援ボランティアを募り、環境美化・読み聞かせ・通学路の安全指導・学習支援などのボランティア活動を実施する。 また、市内7地区に地域学校協働活動推進員を配置し、学校からの要請に応じてボランティア活動を行うことで、学校・家庭・地域が一体となって児童生徒を支援していくものである。			
R2年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座(1回) ・地域協議会開催(2回、2回とも書面開催) ・体験学習(28回)、校内環境整備支援(2回)、安全見守り活動(年間)、学習支援(丸付け支援)(中止)、読み聞かせ支援(中止) 			
課題・問題点	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校も外来者の訪問を極力避けられ、令和2年度はこのような状況下でどのような活動ができるかを模索しながら取り組んだ一年であった。体験活動や読み聞かせ支援は、リモートでの支援スタイルは適さないと考えている。			
予算額・決算額	R2 予算額	526千円	R2 決算額	195千円
担当課 自己評価	地域ボランティアが不足している学校区があるので、広報紙やチラシ、ホームページでの募集を継続していく。令和2年度は、活動に制約があるなかで、何とか支援形態や活動内容を工夫し、地域と学校のつながりが途切れることのないようにした。今後も、地域・学校・家庭が一体となって子育てを行うことに継続して取り組んでいきたい。			
(外部評価委員からいただいたご意見)				
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域住民の協力を得てしっかり実施して欲しい。 ・子ども達の活動が中止になり、支援員の活動も減らされざるを得なかった。地域と学校のつながりが切れないようにしたい。 				
(ご意見を踏まえた今後の方向性)				
コロナ禍の中、地域と学校のつながりが途切れないよう、花壇づくり等の環境整備や子ども見守り活動等、子どもたちと濃厚接触しない活動の充実を図り、地域で学校を支援する雰囲気づくりを継続させていく。 また、コーディネーターを中心に学校の要望等を把握し、各推進員やボランティア等への情報提供も継続して行っていく。				
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 要 改 善 ・ 廃 止			

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域学校協働活動推進事業 (放課後子ども教室推進事業)	担当課	生涯活動推進課
事業目的	放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々との参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回(水曜日と金曜日)実施。水曜日は学習支援員による学びタイム(ドリル学習など)、金曜日は地域の方々と共に活動するふるさとタイム(スポーツや伝承あそびなど)を行う。 ・事業運営委員会(年2回)、及びスタッフ会議(学期ごと)の開催 ・教育委員会ALTとの交流や、県派遣のボランティアの活用 		
R2年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・網田小学校を対象に、全校児童110人のうち17人が参加 ※1年生5人、2年生1人、3年生9人、4年生2人 ・実施予定回数51回中、13回実施(学びタイム0回、ふるさとタイム13回、中止38回) ・教育委員会ALTとの交流、県派遣ボランティアは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・事業運営委員会(2回、2回とも書面開催) ・スタッフ会議実施(7月・11月の2回) 		
課題・問題点	スタッフが高齢化・固定化してきているため、新規スタッフの確保を行い、活動内容も変化をつけ、更に充実したものにしていく必要があると考える。		
予算額・決算額	R2 予算額 596 千円	R2 決算額 160 千円	
担当課 自己評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、限られた回数・活動内容の制限(ふるさとタイムのみ実施)の中での活動ではあったが、地域ボランティアスタッフの協力のもと、毎回、充実した体験活動を行うことができた。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの確保など課題もあると思うが、本事業が他の地区にも広がることを期待する。 ・スタッフの高齢化が進んでおり、スタッフの確保については委員会と地元スタッフで共通意識を醸成する機会をつくってほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・網田地区以外での事業実施については、市担当職員数の不足、地元ボランティアスタッフの確保、空き教室の確保などの課題があり、現状では実施が難しい状況であり、行政だけではなく、学校とも連携して進めるべき事業であるため、今後学校側の意見も聞きながら検討していく。 ・網田地区のスタッフの確保については、地元スタッフに協力をいただき、今年度は1人の新規加入があった。引き続き、スタッフの協力を得ながら、新規スタッフの確保に努め、放課後子ども教室の充実を図っていく。 			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	子ども見守りボランティア事業	担当課	生涯活動推進課
事業目的	近年、登下校時の事件や事故による子どもたちの被害が増えており、子どもたちを取り巻く環境は厳しい状況にある。そこで、登下校時の児童生徒を地域全体で見守ることにより子どもの安全を確保し、子どもたちが安全で安心して健やかに育まれる地域社会の実現を目的とする。		
事業内容	登下校時の通学路における子どもの見守り活動 ・児童生徒の登下校時の見守り及びあいさつ・声かけ ・学校周辺及び通学路の巡回 ・事故発生時や不審者等の発見時に警察・学校・関係部署への連絡 等		
R2度の進捗状況	・広報紙やホームページ等で「子ども見守りボランティア」の募集記事を掲載し、107人のボランティアが集まった。 ・各地区ごとに説明会・講習会を実施し、危険箇所確認等の情報の共有と意見交換を行った。 ・ボランティア登録者へ登録証の発行やボランティア保険への加入と備品(横断旗・ベスト・帽子・タスキ)の配布。		
課題・問題点	・子ども見守りボランティアと学校及び行政がいかに連携を密にしていかが課題である。 ・雨天時の見守り活動に備え、レインスーツの購入を検討している。		
予算額・決算額	R2 予算額 0 千円	R2 決算額	0 千円
担当課 自己評価	本事業について、令和2年度は青少年センター経費と青少年育成市民会議の予算で対応し、事業の体制づくりを行った。令和3年度は、「宇土市子ども見守りボランティア事業」として、予算計上し、国の「学校・安全地域連携協力推進事業補助金」を活用して本事業を実施する。学校、地域、関係機関が連携し、子どもたちが安全安心に生活できるように更なる体制の強化に努めたい。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域・学校・行政が連携を密にして引き続き実施して欲しい。 ・子ども見守りボランティアの充実を図って欲しい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、地域・学校・行政など関係機関が連携しながら、より効果的・効率的な見守り活動ができるよう事業の充実を図っていく。 			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ <u>維 持</u> ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効果的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	史跡宇土城跡保存整備事業	担当課	文化課
事業目的	<p>史跡宇土城跡は、中世城跡としては県内で最初に国指定史跡となった貴重な文化財であり、恒久的に保存するため適切な維持管理を行うとともに、発掘調査の成果に基づいた整備を実施し、多くの市民の憩いの場や野外博物館的な施設として生涯学習等の拠点とする。加えて、体験発掘やキャッスルウォーキングといった市民参加型のイベントを通じ、重要な地域資源として認知度を向上させ、まちづくりの拠点としても活用することを目的とする。</p>		
事業内容	<p>保存整備工事を昭和56年度から着手。整備のための発掘調査を平成2年度(4次調査)から実施している。城跡東側の西岡神宮北側地区(第1ブロック)及び城の中心をなす千畳敷及び周辺地区(第2ブロック)は、平成18年度までに保存整備を終了し、史跡公園として市民に公開している。また、19年度から三城及び周辺地区(第3ブロック)の保存整備に着手し、25年度までに整備をおおむね完了した。その後、長期計画に位置付けられる貝塚地区・空堀地区(第4・5ブロック)の発掘調査に着手し、調査成果を反映した整備工事を計画している。</p> <p>なお、本事業は国庫補助金を得て実施している(補助率50%〔災害復旧は70%〕。事業費10,000千円を超える場合は、県の嵩上げ補助5%)。</p>		
R2年度の進捗状況	<p>平成28年度から実施していた熊本地震や豪雨災害による土砂崩れの災害復旧関連事業が令和元年度に完了し、2年度からは保存整備に伴う発掘調査を再開した。</p> <p>発掘調査は、城跡西側に位置する大型の横堀跡(通称:カラホリ)の北端部の範囲確認を目的に実施した。調査の結果、部分的に堀跡の一部とみられる地形の落ち込みを検出したことから、堀跡が存在する可能性が高いと判断される。ただし、規模や形状等を詳細に把握するためには継続調査が必要であることから、令和3年度も当該地点の調査を引き続き実施する。</p> <p>また、令和2年7月豪雨により、城跡の2箇所で法面崩落が発生したことから、復旧工事を行う予定である(令和2年度で予算化し、令和3年度へ繰越)。</p>		
課題・問題点	<p>平成28年度以降、熊本地震や豪雨災害による被災地点の災害復旧関連事業を優先的に進めたため、整備に関する計画が大幅に遅れることとなった。</p> <p>事業の課題としては、史跡指定面積101,613.24㎡のうち、民有地5,762㎡(5.67%)の公有化が実現できていない。史跡整備を予定している範囲にも含まれているので、今後、公有化に向けた取組を行う必要がある。活用については、宇土城跡の本質的価値について広く情報発信し、市民の理解と関心を更に高めるとともに、地域の宝として活用されるような取組を行う必要がある。</p>		
予算額・決算額	R2予算額 26,770 千円	R2決算額 2,256 千円 (R2→R3繰越額24,423千円)	
担当課自己評価	<p>平成25年度から着手した第5ブロックの横堀跡の発掘調査を再開し、その成果を史跡宇土城跡保存整備検討委員会の指導助言を受けて整備工事に反映させる予定である。今後、第4・第5ブロックの保存整備工事に着手し、宇土城跡に対する市民の関心をより一層高め、地域資源として積極的に活用されるような取組を進めたい。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・民有地の公有化が大変だが、頑張ってほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・史跡宇土城跡の発掘調査を継続的に実施し、遺構の性格や時期等の解明に努めるとともに、その成果を反映した整備を進める。 ・史跡指定地内の民有地については、将来的な公有化に向けた準備を進める。 ・史跡宇土城跡の本質的価値について継続的に情報発信し、「宇土の宝」として市民の理解と関心を高める取組を推進する。 			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	市内重要遺跡保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	<p>宇土市には、国指定3件・国登録1件・県指定9件・市指定107件の計120件の指定・登録文化財がある。これらの文化財や現時点で指定されていない遺跡のなかには、国・県指定クラスの重要遺跡が存在する。これらの遺跡を後世に継承していくため適切に管理・保存するとともに、市民に対して調査成果を広く公開する等、積極的な活用が求められている。</p> <p>このことから、市内遺跡の分布調査や発掘調査、出土遺物整理等を実施することにより、国・県指定に向けた様々な要件を整理するとともに、保存計画等を策定して遺跡の活用や恒久的な保存を図る。</p>		
事業内容	<p>周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為の把握に努め、必要に応じて試掘・確認調査を実施している。また、重要遺跡である轟貝塚について、国史跡指定に向けた基礎資料収集のための各種調査を実施する。その他、各重要遺跡の保存・活用について、今後の保存活用等の方針を検討する宇土市重要遺跡保存活用検討委員会を開催する(年2回程度)。</p> <p>なお、本事業は国庫補助金を得て実施している(補助率50%)。</p>		
R2年度の進捗状況	<p>周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為の把握に努めた。工事時の立会の他、必要に応じ試掘・確認調査を実施したが、結果として令和2年度に実施した確認調査は1件のみであった。</p> <p>また、轟貝塚の国史跡指定に向けて、平成23～28年度に実施した発掘調査及び平成30年度に実施したボーリング調査に関する調査報告書を刊行した。報告書の中では、大正～昭和に行われた各大学・研究者による発掘調査を再検証し、轟貝塚が古くから世に知られることとなった背景や遺跡全体の構造・変遷にまで言及することで、遺跡の総合調査報告書としての性格を持たせた。</p> <p>なお、発掘調査報告書の内容・構成をはじめ、上記事業は各分野の専門知識を有する委員から成る宇土市重要遺跡保存活用検討委員会の指導・助言を受けて実施した。</p>		
課題・問題点	<p>轟貝塚に関しては、発掘調査報告書を刊行することで遺跡の内容や価値付けについて一定の成果を出すことができた。今後は国指定に向け、文化庁や県文化課の指導助言を得て、地元土地所有者への同意取得等に向けた協議を進める必要がある。</p> <p>また、国指定を目指している轟泉水道・旧高月邸や曾畑貝塚についても、文化財としての価値付けの基礎資料とするため、各種調査及び調査報告書の刊行が必要となる。さらに、平成28年の熊本地震及び豪雨災害で被災した市指定史跡・天神山古墳についても、早期の災害復旧が必要であり、今後、復旧工事に向けた方針を決定する予定。</p>		
予算額・決算額	R2予算額 4,350 千円	R2決算額 3,329千円	
担当課自己評価	<p>轟貝塚については、来年度中に国史跡に指定される見通しであるが、国指定はゴールではなく、その後も貝塚中心部の公有化や史跡整備等の課題は多いものの、事業の内容が調査を主とするものから保存・活用を主とする新たなステージへと向かう一つの区切りとなる。また、轟貝塚の事業を優先するため見送っていた曾畑貝塚の調査等についても、事業を前に進める契機になる。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・轟貝塚、曾畑貝塚が国指定になるのはとても好ましいことなので、事業を前に進めてほしい。 ・土地所有者の同意を得られるよう、大変でしょうが頑張ってほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・国や県、検討委員会等の指導助言を得て、轟貝塚の国の史跡指定に向けた実務的な作業を進める。併せて、文化財としての価値を市民に広く情報発信し、恒久的な保存と効果的な活用を目指す。 ・轟貝塚と並んで学史的に著大な曾畑貝塚については、必要な調査等を今後詳細に検討した上で計画的に実施し、将来的な国史跡指定の実現に向けた取組を進める。 			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小西行長関連事業	担当課	文化課
事業目的	城下町宇土の基礎を築いた宇土城主・小西行長の人物像や国内外での活躍・功績を再評価することによって、史料の掘り起しや新たな地域資源を生み出し、地域の活性化並びに観光の振興を図る。 具体的には、小西行長に関連した研究を発表する講演会を開催し、小西行長への理解を深めていただく。また、史料調査を行い、最新の研究成果を「うと学研究」に掲載する等、小西行長の研究拠点として広く情報を発信する。		
事業内容	小西行長に関する最新研究成果を発表する「よみがえる小西行長公」講演会を開催するとともに、小西行長に関する史料の掘り起し及び調査を行う。また、過去に開催した「よみがえる小西行長公」講演会の講演録を刊行する。		
R2年度の進捗状況	R2年度に開催を予定していた2回の「よみがえる小西行長公」講演会は、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 ※一般財団法人自治総合センターのシンポジウム助成事業を申請したが不採択。		
課題・問題点	これまで10年以上にわたり継続してきた講演会も、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度から合わせて3回連続の中止となった。講演会のテーマ設定(マンネリ化)や参加者の減少傾向もあり、今後は講演会に頼らない事業の在り方や事業そのもの見直しを考える時期に差し掛かっている。		
予算額・決算額	R2 予算額 1,581 千円	R2 決算額	0 千円
担当課 自己評価	これまで計25回以上の講演会を開催してきたが、テーマ設定や集客が徐々に難しくなってきたため、事業そのもの見直しや刷新を検討する必要がある。 令和2年度は小西行長没後420年という節目の年だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で講演会を開催することができなかった。現在の情勢が好転した後、著名な研究者を招いて没後420年に関連した大型シンポジウムの開催を計画している。 令和3年度には平成27年度～令和元年度に開催した講演録『再検証 小西行長』(第5集)を刊行する予定である。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・講演会を再開してほしいが、講演会によらない事業の在り方や事業そのもの見直しも引き続き考えてほしい。 ・大型シンポジウムが楽しみである。確実に推進してほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないが、計画している大型シンポジウムについては、これまでのアンケート結果等を参考としながら魅力あるテーマや講師陣を選定し、充実した内容とするよう計画を進めたい。 ・小西行長に関して、市広報やデジタルミュージアム等を活用した周知に努め、市民・県民への積極的な情報発信を行う。 ・近世宇土城跡等の行長ゆかりの地をめぐるツアー等、観光関係部局と連携した取組について検討する。 			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	大太鼓活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市には、江戸時代から明治時代にかけて製作された国指定有形民俗文化財の雨乞い大太鼓が多数現存している。本事業は、これらの雨乞い大太鼓を活用して、文化振興や産業振興等を図ることを目的としている。		
事業内容	「宇土大太鼓フェスティバル」開催助成(補助金)及び関連業務等の支援を行う。また、宇土雨乞い大太鼓保存会青年部(宇土天響太鼓)の協力を得て、「太鼓教室」を開催し、大太鼓フェスティバルや地藏まつり等で成果を発表する。		
R2年度の進捗状況	宇土大太鼓フェスティバルについては、近年の猛暑対策として、これまでは8月の第1土曜日としていた開催日を10月31日(土)に変更して開催予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、併せて太鼓教室も中止とした。 また、年度途中で大太鼓収蔵館空調等整備事業(国庫補助事業)の実施が決定し、9月補正で予算化した。令和2年度中に設計業務が完了し、空調工事は令和3年度に繰越した。		
課題・問題点	宇土大太鼓フェスティバルは、暑さ対策として今回初めて10月に開催予定だったが、中止となったため、実際の問題点はまだ確認できてはいない。現時点では、夏休みが利用できないことによる子どもの参加が危ぶまれることと、農繁期と重なるため地区の大人の参加も制限されることなどが挙げられている。		
予算額・決算額	R2 予算額 1,194 千円	R2 決算額	184 千円
担当課 自己評価	新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、2年続けて大太鼓フェスティバルが中止となったため、各地区の雨乞い大太鼓保存会の活動がこのまま消滅してしまわないか懸念される。 なお、大太鼓収蔵館の空調工事は、令和3年7月末までに完了する予定であるため、今後は環境も良くなり、コロナ収束後は入館者の増加が期待される。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・雨乞い大太鼓は、大切な宇土の文化遺産である。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、活用されないのは残念である。大切に残してほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・大太鼓収蔵館の防火・防犯設備の整備を進め、雨乞い大太鼓や関連資料を適切に保存管理するための体制強化を図る。 ・コロナ禍で大太鼓を活用した催事等の実施が困難な状況にあるが、今後も太鼓関連団体等と連携し、宇土が誇る太鼓文化の振興や情報発信に積極的に取り組む。 			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土市歴史的資料保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市史編纂事業等で収集した歴史的・文化的価値を有する資料を、市民が気軽に利活用できるための環境整備を行うとともに、市民の方々が宇土の歴史・文化により一層興味を持っていただけるよう、これらの資料の持つ価値をPRし、地域活動等につなげていくための事業を実施する。		
事業内容	市史編纂事業で収集した歴史的価値を有する膨大な資料を適切に保存・整理するとともに、郷土資料の収集を積極的に行う。また、収集した資料を専門的見地から調査・研究し、「うと学資料室」等において、市民向けに広く公開し、活用の推進を図る。		
R2年度の進捗状況	市民から歴史資料の寄贈を受け入れた(1件)。本市の歴史研究の成果をまとめた『うと学研究』(第42号)を刊行した。「うと学資料室」の利用相談(毎月第2・第4火曜日の午後)は新型コロナの影響により1年間中止した。古文書入門講座を開催した(計7回、延べ参加者数134名、1月～3月は新型コロナの影響により中止)。古文書入門講座は、参加者から継続を望む声が寄せられている。 また、本市の歴史や文化財の情報を発信するWEBサイト「宇土市デジタルミュージアム」の内容更新を積極的に行った。 宇土市歴史的資料保存活用事業運営委員会は新型コロナの影響により、令和3年3月に書面にて開催し、専門的見地から意見をいただいた。		
課題・問題点	歴史的資料の整理や公開を積極的に進めるとともに、現在建設中の本庁舎完成後の現教育委員会庁舎の再利用検討(第3期市長マニフェスト)を進める必要がある。 具体的には、市民が幅広い用途として利用できる多目的施設とする一方、施設内の一室には歴史的資料や文化財の常設展示室や収蔵室を設け、新たな「学びの場」を創出する。今後、他自治体の先行事例を研究し、庁内の調整を進めていく。		
予算額・決算額	R2 予算額 6,063 千円	R2 決算額 4,985 千円	
担当課自己評価	平成26年度に開設した「うと学資料室」については、今後も教育委員会の所蔵資料を中心に公開対象資料を増やし、今後も「市民が自ら学ぶ場」を提供するとともに、市内外からの歴史・文化に関する問い合わせに対し、質の高いレファレンスサービスを実現するため、「うと学資料室」の機能を強化する必要がある。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的に沿って事業を進めてほしい。 ・市民が学ぶ場としての「しかけ」を大いに工夫してほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・広報うとに連載中の「うと学だより」や「宇土市デジタルミュージアム」、「うと学研究」の刊行、古文書講座の開催等を通じて、宇土の文化財や歴史資料に関する情報を積極的に発信する。 ・市史編纂事業等で収集した歴史的・文化的に価値のある資料を、市民が気軽に活用できる場所として「うと学資料室」を改めて周知するとともに、利用しやすい環境づくりを整える。 ・新庁舎建設後の現教育委員会庁舎の活用について、具体的な整備内容やスケジュールを検討する。 			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	図書館蔵書充実事業	担当課	図書館
事業目的	市民の知識・学習の拠点として、図書館蔵書の充実を図ることにより、市民サービスの向上を目指す。		
事業内容	年間を通じ図書資料の購入を行い、図書館所蔵及び図書館サービスの充実を図る。		
R2年度の進捗状況	令和2年度の図書購入費は4,250千円、購入冊数は2,337冊		
課題・問題点	所蔵図書の劣化が進んでおり、古い情報書も多く、買い替えをするための予算確保が課題である。また、市民のニーズに応じた適切な図書購入を行う必要がある。		
予算額・決算額	R2予算額 4,250千円	R2決算額 4,250千円	
担当課 自己評価	予算の範囲内で図書の購入・充実を図ってきたが、他市町村と比較して予算額・蔵書数ともに低い状況であった。R3年度は予算増額ができたので、より一層多くの市民に利用していただくよう、時流をとらえた資料やニーズの高い資料を計画的に購入していく。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館としての機能をしっかり果たせていると思う。蔵書率の向上のための予算措置をお願いする。 ・市民のニーズに応じた図書購入を継続してほしい。 ・蔵書の充実には、力を入れてほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
市民のニーズを把握するためニーズ調査を実施するなど、情報収集に努め、時流を捉えた新刊図書の購入を計画的に行う。また、劣化の激しい資料の買い替え等も含め、必要な予算の確保に努め、蔵書の量、質ともに充実を図る。			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	給食センター施設整備事業	担当課	給食センター
事業目的	施設や設備の点検を行い、年次計画として優先度を決め、修繕や買換え更新、新規設置を行いながら衛生管理の徹底や給食業務の充実を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高電圧変電設備トランス工事や、サーキュレーターを設置を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による、夏休み期間を短縮しての開校に伴う夏場の給食提供ができるように対応した。 ・既存の学校用牛乳保冷庫のうち、令和2年に生産廃止及び使用削減となる冷媒ガス(R-22)を使用している保冷庫9台を経年劣化もしているため買換え更新し、故障した際にも修繕等ができるように対応した。 		
R2年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センター高電圧変電設備トランス工事(150KVA→200KVAに変換) ・配送室用備品(サーキュレーター)設置(壁取り付けタイプ3台・移動式タイプ3台) ・学校用牛乳保冷庫購入(9台) ・アレルギー室用備品(オーブントースター・真空パック器)購入 		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・施設は築年数41年を経過し、老朽化が進んでおり継続して使用するためには、その都度修繕が必要である。 ・設備も経年劣化が多く、損傷や破損が発生している。 		
予算額・決算額	R2 予算額 17,013 千円	R2 決算額 12,403 千円	
担当課自己評価	夏場の給食提供のため、高電圧変電設備トランス工事や、サーキュレーター等の整備を行い、作業環境の改善へ繋げることができた。今後も、現施設を継続使用できるように整備を行っていききたい。		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止のため計画的に新規での器具購入、点検、整備、補修、管理に努めてほしい。 ・年次計画に沿った施設整備を行ってほしい。 ・給食センターの老朽化が進んでいるようだが、「新」給食センターの構想はないのか。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、施設の老朽化が懸念されている状況ではあるが、耐震化は図られており、施設整備等については、優先度を考慮し、年次的に進めていく。 ・現在、「新」給食センターの建設構想はないが、今後、建替えを検討する際には、児童生徒・園児数の変動を考慮し、民間資本の活用も視野に入れた建設計画を想定している。 			
教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

令和3年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域教育力活性化事業	担当課	中央公民館
事業目的	少子高齢化、情報社会の進展等、子どもを取り巻く地域の新たな教育課題に対し、地域において人間性豊かな子どもを育てる環境を充実させるため、地区公民館を軸として地域の人的物的教育資源等を活用しながら、週末等に様々な体験活動を実施し、地域教育力の活性化を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館で地域住民の協力のもと、異なる年齢の子どもたちによる遊びや体験活動を通じ、自主性・創造性を育む。 ・地域住民と子どもたちとの世代間のふれあい交流体験活動を通じ、「地域の子どもは地域で育てる」気風を育てる。 		
R2年度の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども地域活動(青空教室)・・・7地区公民館で芋の収穫等の農業体験、竹細工、昔遊び、料理教室、環境学習、施設見学、読み聞かせ等を実施。計32回 延758人(内支援者233人) <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、科目によって対象学年を限定したり、施設見学の際に分散して移動するなど、試行錯誤しながら感染対策を行い、実施することができた。 ※通学合宿(3泊4日)は、新型コロナウイルス感染症の影響により全地区中止。</p>		
課題・問題点	<p>コロナ禍のなかにあっても、各公民館では、カリキュラム設定にあたり保護者等からの要望を聞いたり、公民館職員が自ら講師となるなどの工夫を試みている。しかし、ウォークラリーなどの屋外活動や施設見学など移動を伴う講座のときは、参加人数や交通手段等、関係者の安全面での課題がある。今後も活動を継続・拡充するためにも、科目の検討や協力者の確保等も課題である。</p>		
予算額・決算額	R2予算額 814 千円	R2 決算額 155 千円	
担当課自己評価	<p>現在の子どもたち(特に高学年)は学校外で、異なる学年・世代と交流する時間が減ってきている。このため、遊びや体験活動を通じた異なる学年や世代を超えた交流は、人間性豊かな子どもを育てるため、より一層重要になる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は大幅な事業の中止または縮小を余儀なくされた。その中にあっても、各地区公民館では可能な限り工夫を凝らして実施してきた。今後は、より一層、関係するすべての人々が満足してもらえるよう、カリキュラムを考慮していきたい。</p>		
(外部評価委員からいただいたご意見)			
<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的に沿って事業を進めてほしい。 ・公民館と学校の連携がカギになる。日頃のコミュニケーションの取り方が大切である。担当の先生方へのアピールと交流を深める方策を考えてほしい。 			
(ご意見を踏まえた今後の方向性)			
<p>コロナ禍にあっても、本事業に参加する子どもたちは、地域の人々との活動を通じ、豊かな人間性を育むことができおり、今後は地区公民館において、それぞれの地区に居住する熟練者や文化財等の調査を引き続き行い、活動の円滑な実施に努めていく。特に、地域の社会教育団体からの支援を確保していくことが不可欠であると考えている。</p> <p>また、学校との円滑な連携を図ることも本事業においては重要であるため、今後は学校関係者への活動周知や案内等を行い、活動の共有を図りたい。</p>			
教育委員会としての今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 要 改 善 ・ 廃 止</p>		

※評価判定

拡 充 … 事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業

維 持 … 概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業

要改善 … 現在の方向性を見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業

廃 止 … 事業目的・活動内容等が、効率的・効果的でない事務事業

Ⅲ 教育委員会の活動状況

1 委員会議の開催状況

宇土市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、教育長と教育委員が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

令和2年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりです。

期日	場所	付議事件
令和2年4月13日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 学校給食センター給食物資納入指定者の選定について 専決処分の報告及び承認を求めることについて 特別支援学級への就学及び転籍について 令和2年度宇土市学校教育努力目標について 令和2年度宇土市幼稚園教育努力目標について 令和2年度宇土市生涯学習努力目標について 令和2年度宇土市人権教育推進努力目標について 令和2年度宇土市社会体育努力目標について 令和2年度宇土市文化振興努力目標について 令和2年度宇土市立図書館努力目標について 令和2年度宇土市社会体育努力目標について 令和2年度宇土市学校給食センター努力目標について 令和2年度宇土市立小中学校教務主任等の任命について 令和2年度学校評議員の委嘱について 令和2年度幼稚園評議員の委嘱について 宇土市スポーツ推進委員の委嘱について 令和2年度宇土市入学準備祝金採用者の選考について
令和2年4月28日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立幼稚園、小中学校の休業(休校)について
令和2年5月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立幼稚園一時預かり保育条例の一部を改正する条例について 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について(花園小) 学校運営協議会委員の任命について(走潟小) 学校運営協議会委員の任命について(緑川小) 学校運営協議会委員の任命について(網津小) 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について(住吉中) 学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について(網田小・中)

		<p>宇土市社会教育委員の委嘱について</p> <p>宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>宇土市立図書館協議会委員の任命について</p> <p>令和2年度宇土市一般会計補正予算について</p>
令和2年5月14日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市立幼稚園, 小中学校の再開に向けた取組について</p>
令和2年6月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市立小・中学校管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</p> <p>宇土市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市学校給食専門委員会委員の委嘱について</p> <p>学校運営協議会委員の任命について(網津小)</p>
令和2年7月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>宇土市立幼稚園一時預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市公民館条例の一部を改正する条例について</p> <p>学校運営協議会委員の任命について(網津小)</p> <p>宇土市教育支援委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市通学路安全推進会議委員の委嘱について</p>
令和2年7月31日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>夏季休業期間中における閉庁日の実施について</p> <p>事件・事故の報告</p>
令和2年8月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>専決処分の報告及び承認を求めることについて</p> <p>令和2年度宇土市一般会計補正予算(新型コロナウイルス対策分)について</p> <p>宇土市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について</p> <p>令和2年度宇土市一般会計補正予算について</p> <p>令和3年度使用宇土市立中学校教科用図書の採択について</p>
令和2年9月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>専決処分の報告及び承認を求めることについて</p> <p>令和2年度学校産業医の委嘱について</p> <p>宇土市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</p> <p>宇土市文化財保護審議会委員の辞任について</p> <p>宇土市歴史的資料保存活用事業運営委員会委員の辞任について</p> <p>宇土市立学校の教育職員の在校時間等の上限等に関する方針について</p>

令和2年10月12日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 財産の取得について 宇土市立小・中学校遠距離通学費の支給に関する規則の一部を改正する規則について 宇土市公民館条例の一部を改正する条例について 特別支援学級への就学及び転籍について 令和2年度宇土市立学校薬剤師の委嘱について
令和2年11月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市入学準備祝金給付基金条例の一部を改正する条例について 宇土市入学準備祝金給付基金条例施行規則の一部を改正する規則について 宇土市網津公民館網引分館指定管理者の指定について 宇土市民会館指定管理者の指定について 専決処分の報告及び承認を求めることについて 令和2年度宇土市一般会計補正予算(大相撲9月場所優勝記念事業分) 令和2年度宇土市一般会計補正予算について
令和2年11月18日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 教職員の配置等について 特別支援学級について
令和2年12月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 宇土市ジュニアスポーツ応援委員の委嘱及び任命について 宇土市民会館指定管理者運営評価委員会委員の委嘱について 特別支援学級等への就学及び転籍について 専決処分の報告及び承認を求めることについて 特別支援学級等への就学及び転籍について
令和2年12月4日 (臨時会)		(議決事項) 教職員の処分について
令和3年1月12日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について 特別支援学校及び学級への就学及び転籍について
令和3年2月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について 宇土市スポーツ振興基金条例の一部を改正する条例について 武家屋敷(旧高月邸)条例の一部を改正する条例について 武家屋敷(旧高月邸)条例施行規則について 宇土市立幼稚園規則の一部を改正する規則について 児童・生徒の表彰について

		専決処分の報告及び承認を求めることについて 損害賠償額の決定について 令和3年度宇土市立学校内科医，眼科医，耳鼻科医，歯科医及び薬剤師の委嘱について 令和3年度学校産業医の委嘱について 令和2年度宇土市一般会計補正予算について 令和2年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計補正予算について
令和3年2月27日 (臨時会)		(議決事項) 学校等教職員の異動について
令和3年3月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市立幼稚園規則の一部を改正する規則について 宇土市立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則について 宇土市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について 特別支援学級への就学及び転籍について 宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について 宇土市立図書館協議会委員の任命について 轟泉水道及び旧高月邸保存活用検討委員会委員の委嘱について 宇土市社会教育委員の委嘱について 専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第2号 宇土市一般会計補正予算について令和2年度宇土市一般会計 専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第3号 鶴城中外壁等改修工事請負契約の変更契約の締結について 令和3年度宇土市一般会計予算について 令和3年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計予算について

2 総合教育会議

期日	場所	協議事項等
令和3年2月8日	市役所仮設 庁舎 2階来賓室	(協議事項) 少人数学級導入における教室数不足について 轟泉水道の国指定に向けた取組について

3 その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、適宜、各種会議、関係行事へ出席をしています。

令和2年度における、その主な活動は次のとおりです。

- ・宇城市町教育委員全員研修会
- ・熊本縣市町村教育委員大会

- 学校訪問
- 各小中学校入学式・卒業式
- 各幼稚園運動会・各小学校運動会・各中学校体育祭
- 成人式式典
- 学校給食試食会
- その他各種イベント事業への出席

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小や中止となった行事もあります。

【宇土市教育委員会委員名簿】

(令和3年10月1日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	おおた やすゆき 太田 耕幸	令和3.10.1～令和6.9.30
委員長職務代理者	こんどう おさむ 近藤 修	令和2.10.1～令和6.9.30
委 員	あくたがわ まなぶ 芥川 学	平成30.10.1～令和4.9.30
委 員	しらい まさはる 白井 正晴	令和元.10.1～令和5.9.30
委 員	たけもと さよこ 岳元 さよ子	令和3.10.1～令和7.9.30